

平成31年2月6日付【日本下水道新聞】
 関東支部<広域化等で意見交換>
 座談会 国、JS、治自体と



菅支部長

全国上下水道コンサル
 タント協会関東支部（支
 部長 菅伸彦オリジナル
 設計社長）は1月29日、
 都内の同協会会議室で第
 32回下水道事業座談会を

協部
 ン支
 コ東
 水関

座談会 国、JS、自治体と

広域化等で意見交換

開催した。
 1都8県の下水道およ
 び国土交通省関東地方整
 備局、JS日本下水道事
 業団東日本設計センター
 の下水道担当者と、同
 支部幹部らで各事業体が
 抱える課題やそれら課題
 解決に向けた取組み事例
 について意見交換を行っ
 た。



官民で意見交換

冒頭、菅支部長は「昨
 年、当協会は公益社団法
 人に移行し、社会要請に
 基づく活動の強化、会員
 企業の地位向上等に向け
 た取組みを加速させてい

る」と報告しつつ「昨年
 を振り返れば平成30年7
 月豪雨、北海道胆振東部
 地震など災害が多発し
 た。政府は国土強靱化へ
 3カ年の緊急対策を閣議
 決定したほか、二次補正
 予算、31年度予算につい
 ても災害への備えを重視
 した編成となっている」
 「下水道では財政制度等

審議会での改築補助に対
 する建議、水道では改正
 水道法について、金融は
 じめ他業界でも上下水道
 の話題が増えている印象
 だと昨今の動向を総括。
 最後に「広域化、未普及
 解消、災害対策など山積
 する事業課題の解決へ、
 皆さまと活発な意見を交

わしたい」と結んだ。
 議事では情報提供とし
 て国土省が31年度予算に
 ついて解説、意見交換で
 は共通トピックに広域化
 を、その他トピックとし
 て未普及対策、老朽化対
 策、災害対策などを挙げ、
 各自自治体での取組み事例
 が紹介された。